

V.G 槻輪だより

会報 第125号
発行日 平成27年3月1日
発行・編集 V・G 槻輪
代表者 大岡成一
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

わがまち紹介

「嶋上郡衙のまちとして栄えた郡家の村」郡家本町

平成27年2月19日(木)

JR高槻駅北側

バス乗り場 集合

JR高槻駅北バス停↓郡家本郷バス停↓下車↓久安寺↓妙圓寺↓郡家本町まち並み
妙圓寺住職の葦名彰先生より長時間にわたり丁寧にわかり易いお話を頂きました。本当にありがとうございました。

郡家本町を散策し、会食・連絡会を行い解散しました。郡家地域は地名の発生の時代がほぼ確定されていると思われます。「郡家」という言葉は、奈良期から平安期にかけて、国家的な支配のもと、各国に置かれた郡の役所(郡衙)や郡司、建築群を総称して使われています。

高槻市の郡家は、東に芥川南に西国街道、西に芥川廃寺(塔心基礎石が素盞鳴尊神社境内にある)、北に式内社である阿久刀神社に囲まれています。嶋上郡家は、門や柵で区画された役所地区(嶋上郡衙跡地)、近くの神社・寺(素盞鳴尊神社)地区、集落地区(郡家本町)を含んだ生活圏を作っていたと思われます。しかし、平安中期から激しさを増す全国的な規模での荘園の増大は、郡の行政単位としての機能を弱体化し、それに伴って古代村落としての郡家も衰退消滅していったと思われます。現在、郡家地区にある寺院は、妙圓寺と久安寺の二ヶ寺です。江戸時代にはもう一ヶ寺「薬師寺」があったことが絵図や縁起などから確認できますが今はありません。郡家は、芥川の山城に陣取った三好長慶の采配で、芥川の清流を田に引く権利を得て命綱の水を確保した農村は「郡家極楽」と言われた土地、豊かな水と土に恵まれました。郡家本町の集落は、なだらかな坂道に細い生活道路と水路が走り、昔の光景を今に伝える変化に富んだ家並みのまちです。

ライオンズクラブ高槻基金 VG槻輪受賞!!

平成27年2月24日アンジェルデ・マリアージュにて「ライオンズクラブ高槻基金贈呈式が開催されました。

VG槻輪は2014年12月3日付で提出した申請書が受理され、ライオンズクラブ高槻基金運営委員の方々の審査を得て受賞となりました。会を代表して会長が授賞式に出席し表彰状を受賞しましたので報告致します。会員始め関係者皆様のご支援によるものと心から感謝しております。これからも当グループの更なる発展と向上を目指し、人の輪、社会活動の輪を広げべく会員一同気持ちを新たに、この槻輪の足跡を刻んで行きたいと考えています。今後ともよろしくお願ひします。 S・O



蘆名山妙圓寺

(眞宗佛光寺派)

「妙圓寺(みょうえんじ)」は、蘆名山と号して眞宗佛光寺派に属し、本尊は阿彌陀如来です。



「郡家御坊」とも称されるこの寺は、寺伝によれば、1469年(文明元年)、郡家の草庵に住していた葦名主許(かずと)が蓮如上人の撰津国布教の際、剃髪して上人の弟子になつたそうです。

書には、主計が登場し、ヒゲを剃る間も惜しんで念仏を唱え、手元が狂つて傷ばかりつくつているといふほど熱心な念仏者として紹介されています。妙圓寺は、当初御坊山に開創されその後郡家に移転し、後柏原天皇の時(1522年)現在地に移転した。住職より、お堂の歴史の詳細のお話をしていたとき、明治時代には小学校の校舎として使用されたことや、光格天皇からの授けもの品、各仏像の話、御文の「白骨の章」の草案の話、蓮如上上人自刻像の話、冷泉家御歌教如上人の御手紙など多くの家宝話を長時間に渡り説明をして頂きました。

白華山久安寺 (黄蘗宗) 寺伝によれば、承応3年(1654年)に臨濟宗妙心寺派の龍溪性潜が開基したと伝わる。その後荒廃を繰り返し、地震により本堂が倒壊するが平成5年(1993年)に庫裏と本堂を再建した。



蓮如上人御一代記聞

2015年3月度行事予定

「古くは都の皇族や公家の別荘が点在していたまち」京都市右京区
月 日: 2015年3月18日(水曜日)
集合場所: 阪急松尾大社駅 改札出口 13:30
順 路: 阪急松尾大社駅→梅宮大社→阪急松尾大社駅
そ の 他: 1) 順路は、天候などで変更することが有ります。
2) 前日の午後6時のNHKの天気予報で、当日の午後の天候で降水率60%以上の場合は中止します。

2015年4月度行事予定

「伝統の酒造りと寺内町のまち」高槻市富田
月 日: 2015年4月15日(水曜日)
集合場所: 小寺池図書館前 9:30集合
順 路: 小寺池図書館→富田散策→富田公民館(予定)
その他 1) 小雨決行。
2) 富田公民館で「富田まちなみ・他」のビデオ観賞を予定しています。
3) 終了後、VG槻輪の総会・親睦会を予定しています。